

宝印刷株式会社主催 会社説明会 『アジアの未来 part3』

東京エレクトロン デバイス(株)

2011年1月31日

取締役執行役員専務 久我 宣之



本日のご説明内容

1. 会社概要
2. 半導体商社及び当社ビジネス
3. 足元の業況及び業績見込み
4. 成長戦略(3ヶ年計画)
5. 株主還元

1. 会社概要

当 社 概 要

設 立 : 1986年3月3日

事業内容 : 半導体、コンピュータ・ネットワーク機器等の専門商社

売 上 高 : 851億円(2010年3月期)

本 社 : 横浜市神奈川区金港町1番地4横浜イーストスクエア

従 業 員 : 連結844名(2010年3月31日)

関連会社 : 東京エレクトロン デバイス上海

東京エレクトロン デバイス香港

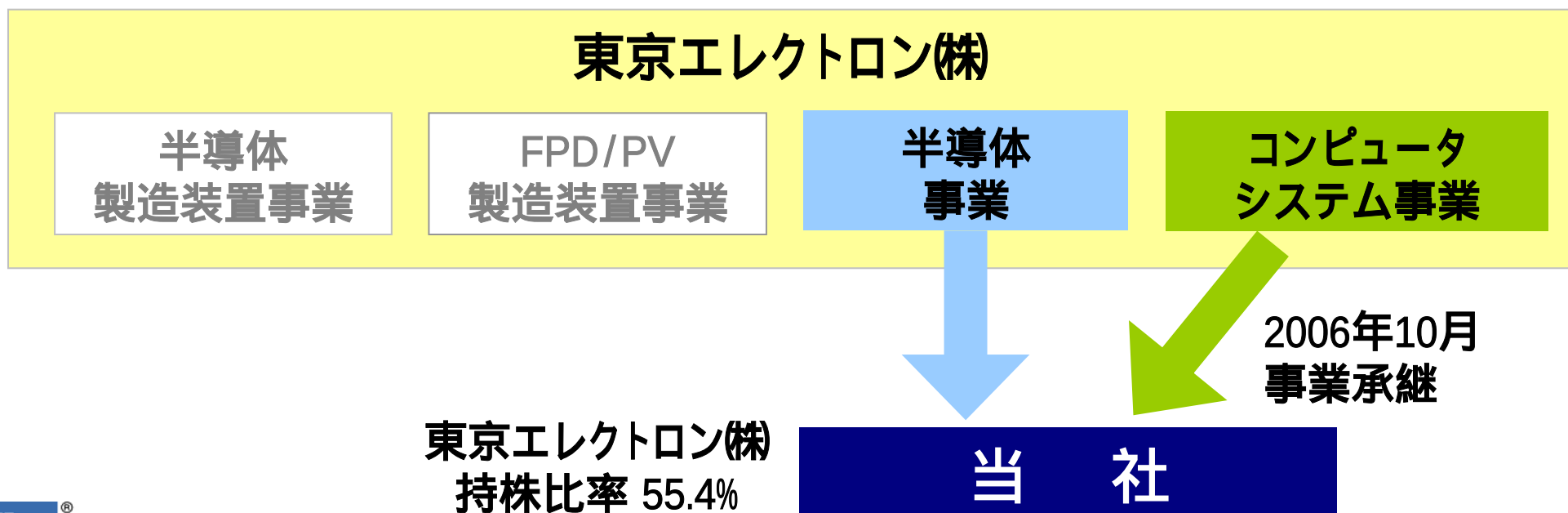
東京エレクトロン デバイスシンガポール

パネトロン株式会社

当 社 沿 革

40年超の歴史と経験を有する専門商社

- ・1965年 東京エレクトロン(株)の半導体事業部門でビジネスを開始
- ・1998年 東京エレクトロン(株)の半導体事業が分離・独立
- ・2003年3月7日 東証2部 上場
- ・2006年10月 コンピュータシステム事業を承継
- ・2010年12月24日 東証1部 上場



2. 半導体商社及び当社ビジネス

上場半導体商社(同業他社)

【日系メーカー系(日本の半導体メーカーの商品を主に扱う商社)】

(株)エクセル、(株)カナデン、佐島電機(株)、三信電気(株)、新光商事(株)、
都築電産(株)、(株)立花エレテック、(株)バイテック、(株)UKCホールディングス、
(株)リョーサン、菱電商事(株)、菱洋エレクトロ(株)、(株)ルネサスイーストン

【海外メーカー系(海外の半導体メーカーの商品を主に扱う商社)】

(株)アムスク、インターニックス(株)、加賀電子(株)、黒田電気(株)、
(株)トーメンエレクトロニクス、(株)トーメンデバイス、伯東(株)、
(株)パルテック、富士エレクトロニクス(株)、(株)マクニカ、丸文(株)、

当社

注) 上記会社の選定は、当社の推定により行っております。
社名は、五十音順に記載しております。

半導体商社の動向

従来型の商社機能を強化

商権獲得、物流業務の強化

海外展開を強化

海外拠点の拡充、海外半導体商社と提携、

技術商社を志向

技術サポートが必要な高付加価値商品の拡充、
お客様の製品設計部へ提案営業(デザインイン)、
自社ブランド商品(メーカー機能)

半導体事業 ビジネス形態

【仕入先】

半導体
メーカー

仕入

【当社】

商 社

販売

【主なお客様】

電子機器
メーカー

【特徴】

外国系有力メーカー
を中心に約45社
最先端商品を
マーケティング



【特徴】

高付加価半導体を
技術サポートとともに
提供する技術商社



【特徴】

デジタルテレビ、
PC、携帯電話、
医療機器など
幅広分野に
満遍なく販売



メーカー機能への取り組み



3 . 足元の業況及び業績見込み

当社を取りまく事業環境

【半導体事業】

- ・ 上期：産業機器の回復顕著
第1四半期好調、第2四半期一服感
- ・ 下期：一部用途には減速懸念あるが、
足元の状況は総じて底堅く、堅調持続を想定

【コンピュータシステム事業】

- ・ 上期：企業のIT投資は慎重
製品販売は回復途上だが想定どおり
保守は堅調
- ・ 下期：下期偏重の傾向あり、回復を想定

中間連結業績

9月24日 中間連結業績を上方修正

(単位:百万円)

	2010.4.28 年初発表 (A)	2010.9.24 修正発表	2011年3月期 中間実績 (B)	増減額 (B) - (A)	増減率 (%)
売上高	43,500	45,500	45,535	2,035	4.7
営業利益	870	1,050	1,150	280	32.3
経常利益	850	1,150	1,247	397	46.7
中間純利益	490	760	861	371	75.9

今期(2011年3月期)業績予想

9月24日 連結業績も上方修正

(単位:百万円)

	2010年3月期 前期実績 (A)	2011年3月期 今期予想			
		年初発表 2010.4.28	修正発表(B) 2010.9.24	増減額 (B) - (A)	増減率 (%)
売上高	85,145	91,000	93,000	7,854	9.2
営業利益	2,079	2,690	2,870	790	38.0
経常利益	2,117	2,600	2,900	782	37.0
当期純利益	1,166	1,640	1,910	743	63.8

セグメント別 連結売上高予想

(単位:百万円)

セグメント	中間 実績	下期 予想	通期 予想	対前年通期	
				増減額	増減率 (%)
半導体事業	37,475	37,525	75,000	7,560	11.2
コンピュータ システム事業	8,059	9,941	18,000	293	1.7
合 計	45,535	47,465	93,000	7,854	9.2

4. 成長戦略

(2010年7月 3ヶ年計画を発表)

【3ヶ年計画 施策】

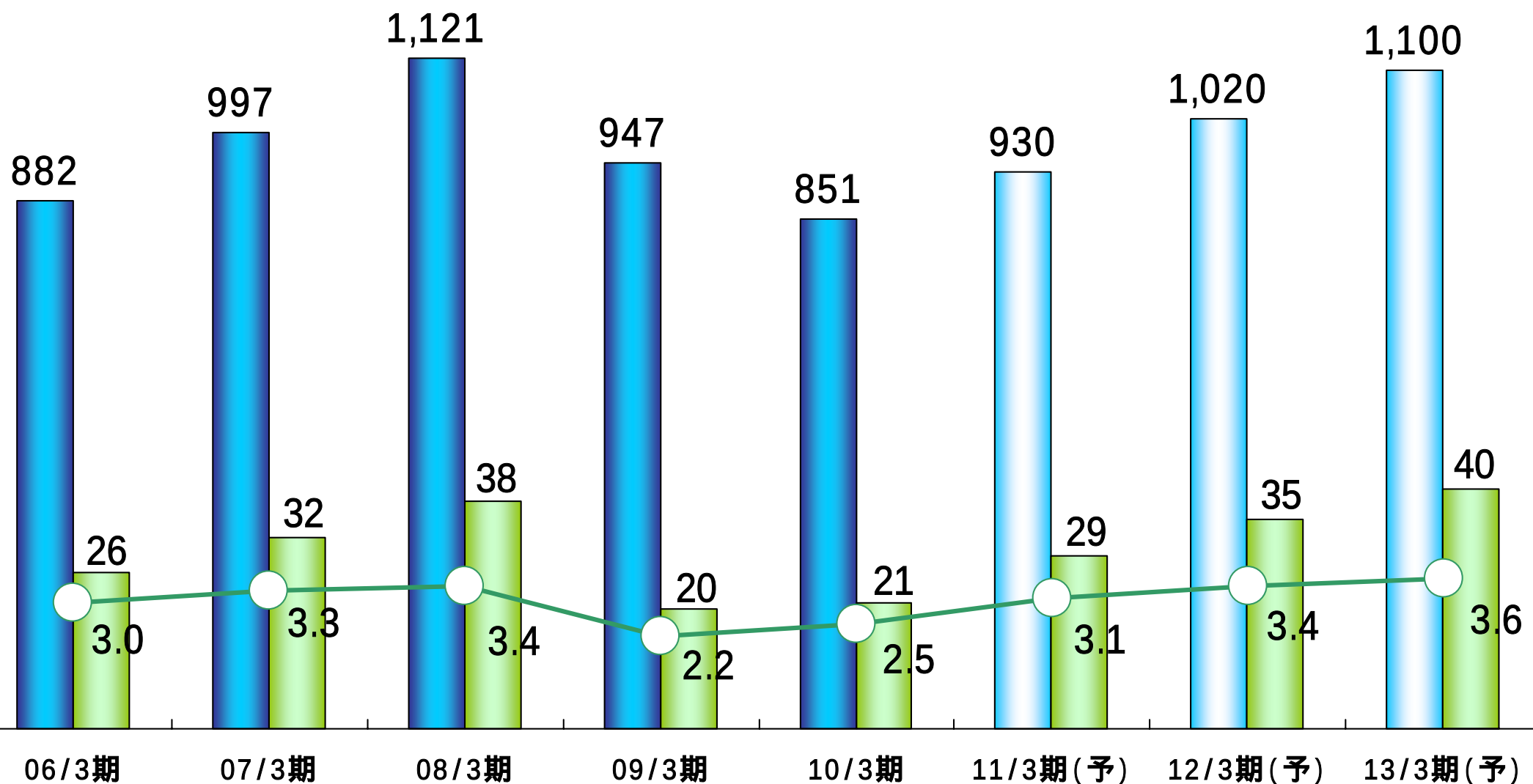
1. 半導体事業(国内展開)
2. 半導体事業(海外展開)
3. 開発ビジネス
4. コンピュータシステム事業
5. 新規事業

業績推移及び3ヶ年計画

■ 売上高(億円)

■ 経常利益(億円)

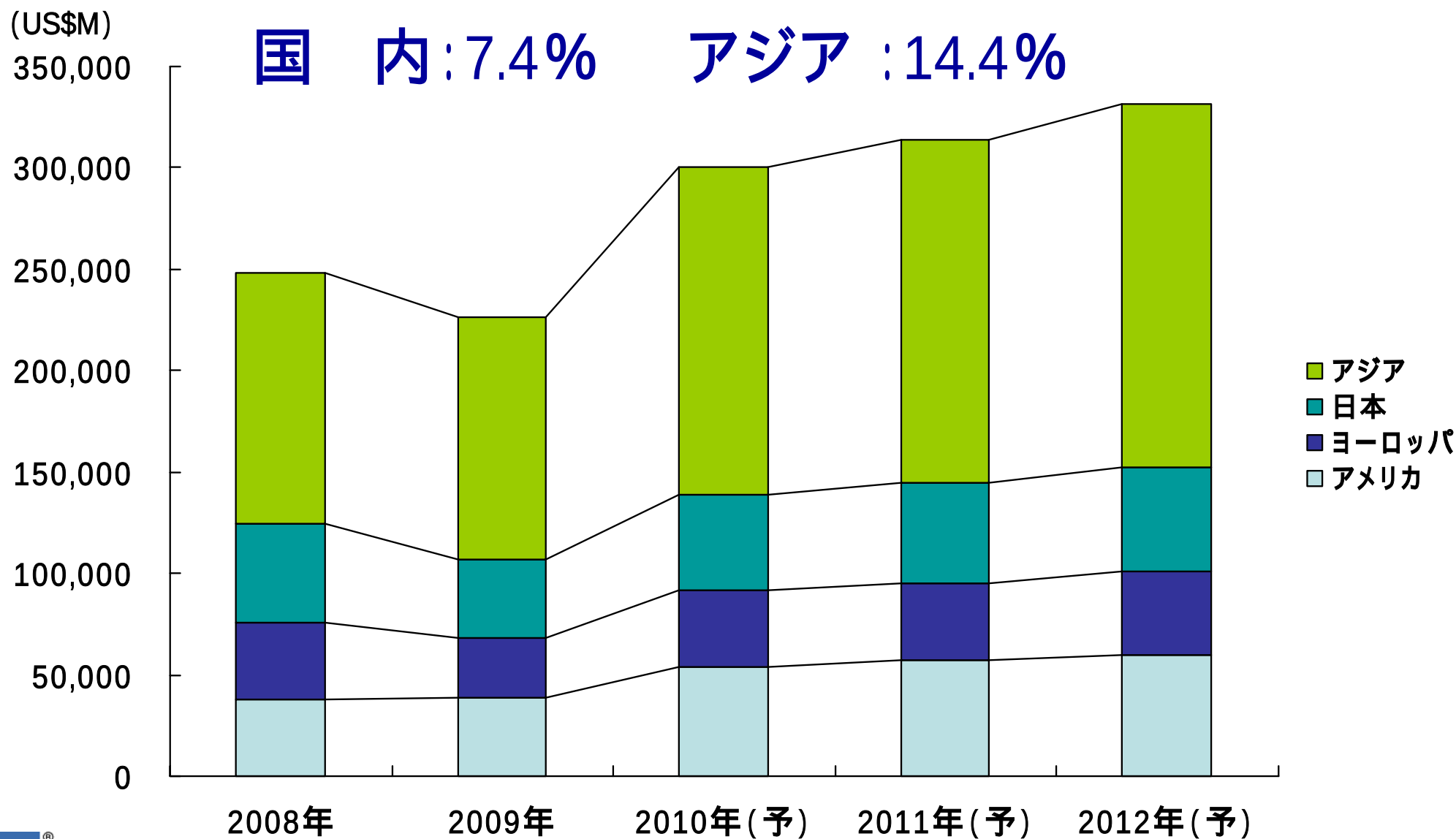
—○— 経常利益率(%)



半導体市場予測

平均成長率(2009年～2012年)

国内:7.4% アジア:14.4%



【3ヶ年計画】

1.半導体事業(国内展開)

1. 半導体事業(国内展開)

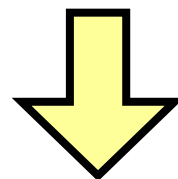
安定成長の源泉(当社ビジネスの根幹)

新規顧客獲得

拠点拡充による地域密着営業の一層推進
産業機器分野(医療、環境など)に注力

商権拡大

技術サポートの充実により既存顧客を深耕



目標: 半導体市場予測プラス α の成長

地域密着営業推進

営業拠点：全国 21拠点

2010年 4月 姫路営業所、
広島営業所開設

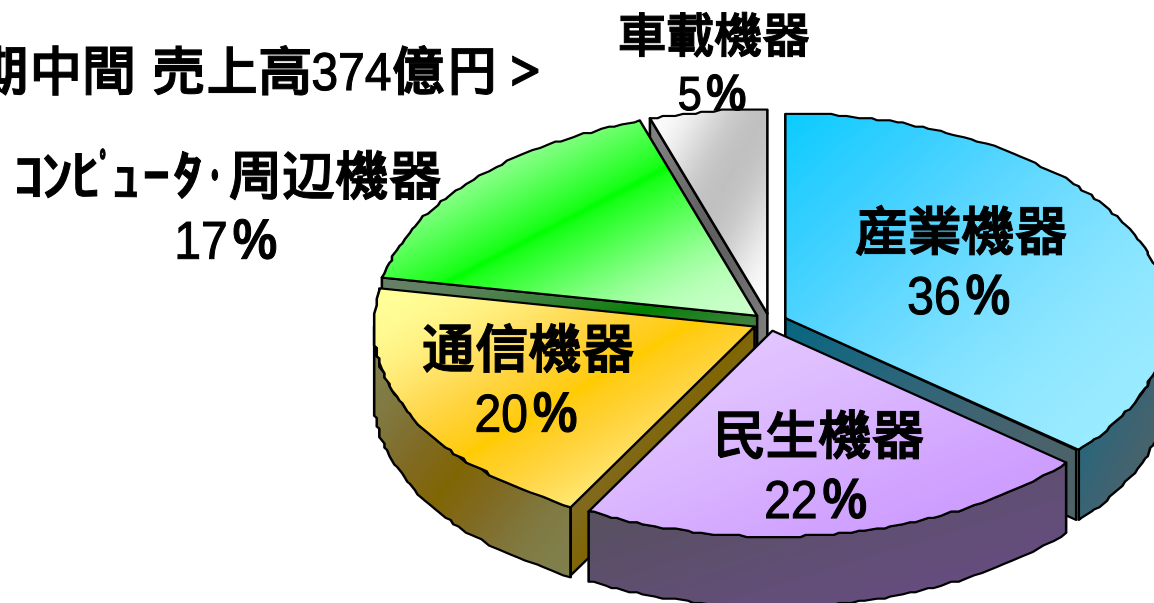
2010年10月 郡山オフィス開設



産業機器分野に注力

最終製品別売上構成

< 2011年3月期中間 売上高374億円 >



分 野	主な最終製品	主なお客様
産業機器	医療機器、金融端末、半導体製造装置、FA機器	沖電気、東芝、パナソニック他
民生機器	デジタルカメラ、薄型TV、AV機器	ソニー、東芝、パナソニック、日立他
通信機器	携帯電話、ルーター、伝送装置、携帯電話基地局	パナソニック、日立、富士通他
コンピュータ・周辺機器	複合プリンタ、プロジェクター、PC及び付属機器	NEC、セロックス、パナソニック他
車載機器	カーナビゲーション、カーオーディオ	アイシン、パナソニック他

注) 社名は、敬称を省略し、略称を使用し、五十音順で記載させていただいております。

技術サポートの充実

有力メーカーの高付加価値半導体を技術サポート

【外国系35社】

ザイリンクス  XILINX®	プログラマブルロジックデバイス(PLD)半導体で 50%以上のシェアを占めるNO.1企業
TI  TEXAS INSTRUMENTS	半導体メーカー売上高ランキング世界4位 デジタルシグナルプロセッサ(DSP)でNO.1企業
リニアテクノロジー  LINEAR TECHNOLOGY	高機能アナログIC分野で世界を代表する企業
フリースケール  freescale semiconductor	モトローラ社から分離独立。CPUの代表的企業

【国内10社】

富士通、コーセルなど

注) 社名は敬称を省略し、略称で記載しております。

【3ヶ年計画】

2. 半導体事業(海外展開)

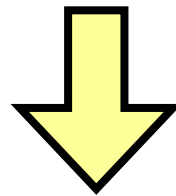
2. 半導体事業(海外展開)

売上拡大の源泉

有望マーケットであるアジア地域での拡販

営業拠点の拡充

現地企業への営業強化



目標: 半導体事業売上高の20%

海外営業拠点の拡充

アジア地域に営業展開

【営業拠点開設時期】

2005年：香港

2006年：上海、大連

2008年：シンガポール

2009年：深圳

2010年：マレーシア

今年更に1拠点開設予定



海外現地企業への営業強化

自社ブランド商品をアジア地域に拡販

- ・人の目で見ているような自然な映像を再現
- ・監視カメラ、車載カメラなどの映像機器向け



〈元画像〉



〈通常のガンマ補正〉

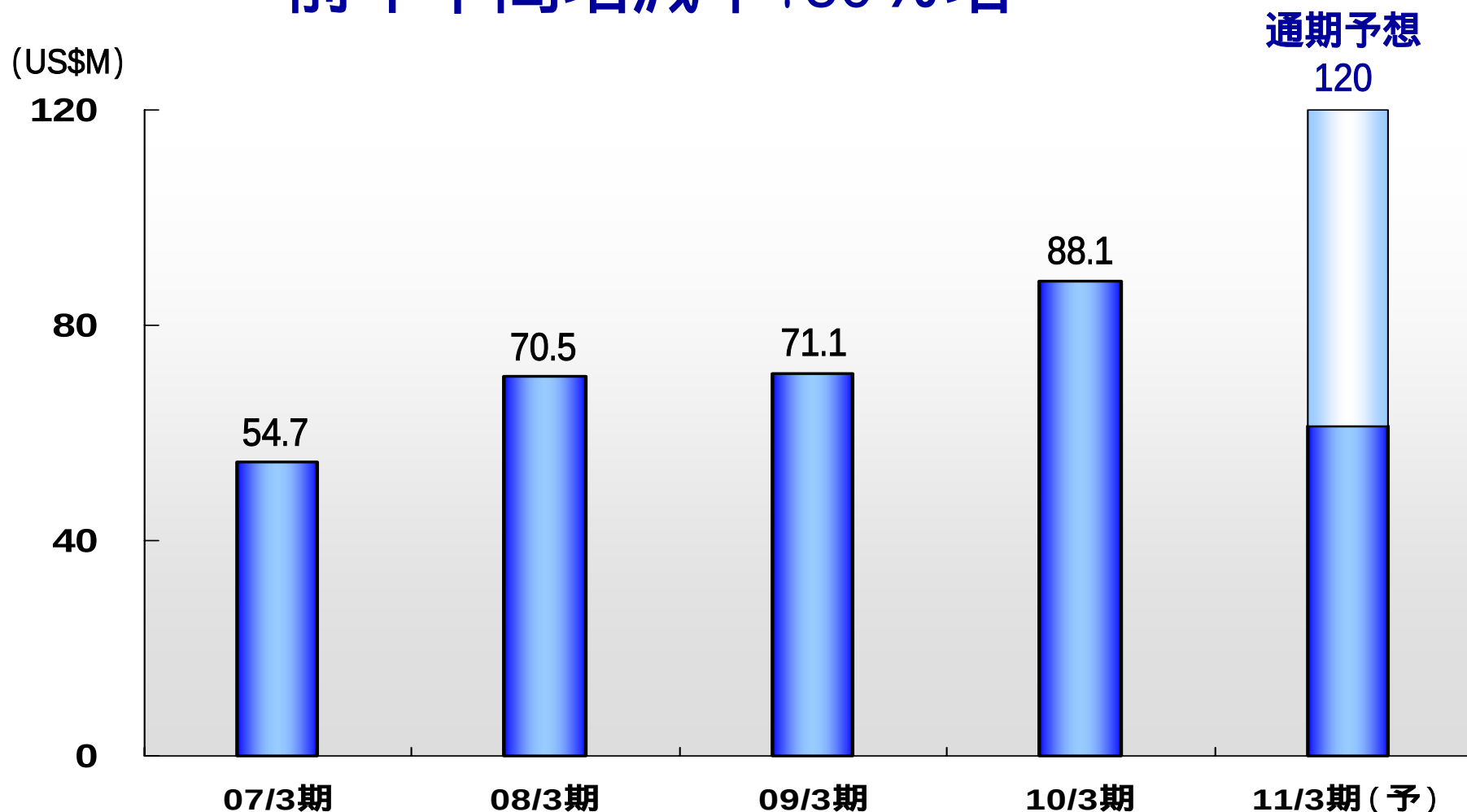
コントラストが消失



〈TE3610PF 使用時〉

海外連結子会社 売上高推移

中間売上高: 61百万ドル
前年中間増減率: 50%増



【3ヶ年計画】

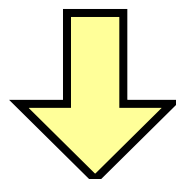
3．開発ビジネス

inrevium

利益成長の源泉

設計受託業務、OEM販売の推進
量産供給及び品質体制の強化
トップセールスによる顧客拡大

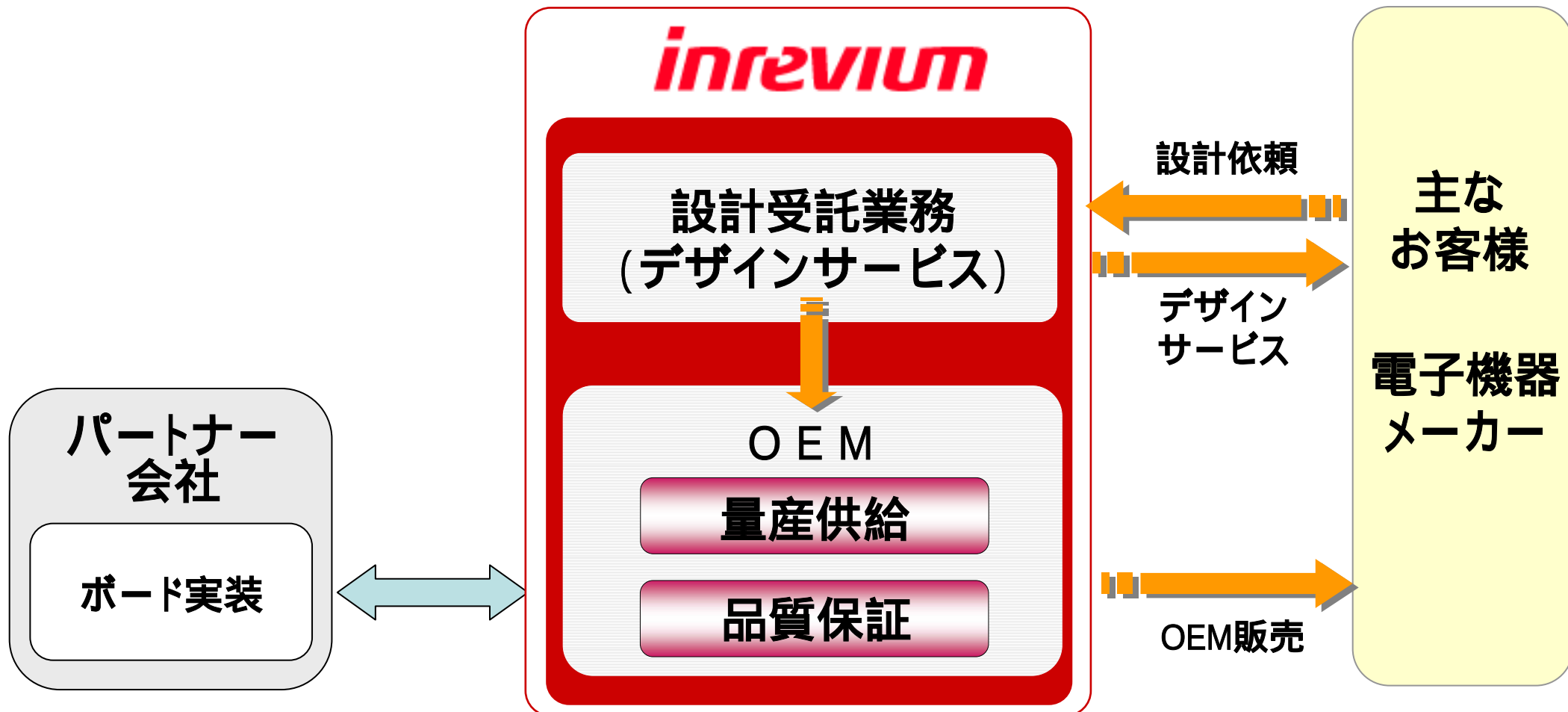
自社ブランド商品の拡販
セキュリティ関連向け商品群の拡充
アジア地域への販売推進



目標：売上高80億円

設計受託業務、OEMの推進

量産供給、品質体制の強化



自社ブランド商品の拡販

inrevium

80種類以上ラインアップ、セキュリティ商品を拡充

映像機器用LSI



メモリコントローラ用LSI



PLD用LSI



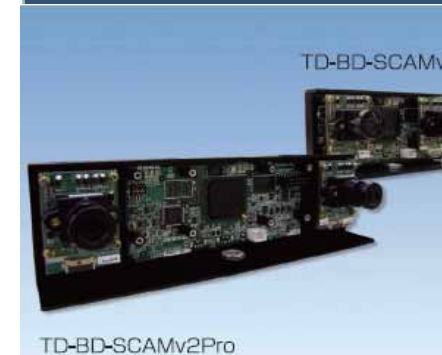
PLD評価ボード



信号処理ボード



3次元計測ボード



【3ヶ年計画】

4．コンピュータシステム事業

4. コンピュータシステム事業

利益成長の源泉

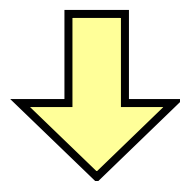
お客様に密着した提案営業を強化

製品別営業からお客様別営業に組織改編

全国21箇所の営業拠点を活用

需要が高まるデータセンター向けビジネスに注力

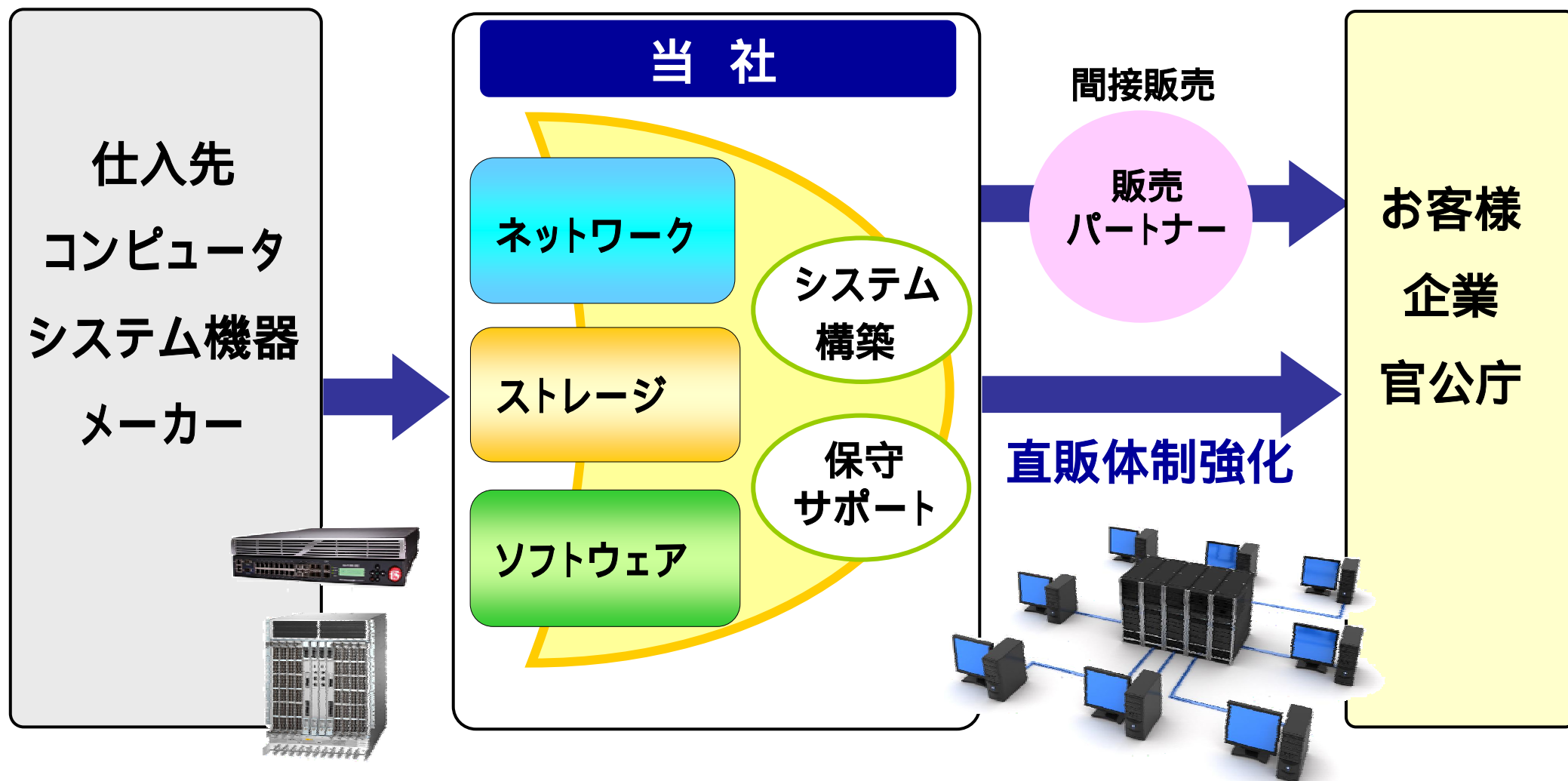
システム構築、製品販売、保守のトータル提案



目標: コンピュータシステム事業で経常利益率10%

トータル提案営業の強化

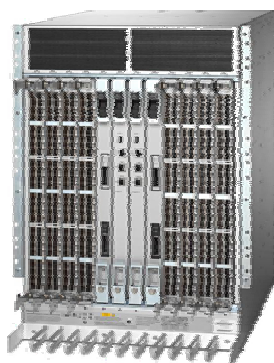
営業体制を改編、直販体制を強化



品目別売上構成

< 2011年3月期中間 売上高80 億円 >

ブロード社
SANスイッチ



ストレージ
関連
25%

マイクロソフト社
企業向け産業機器に
組み込まれるソフトウェア



ソフトウェア
29%

F5ネットワークス社
インターネット接続機器
(負荷分散、セキュリティ用)



ネットワーク
関連
46%

【3ヶ年計画】

5．新規事業

5 . 新規事業

事業拡大の源泉

環境エネルギー等成長分野への進出

LED、電池などの取り扱いを開始

リンクラブス社、

インフィニット・パワー・ソリューションズ社

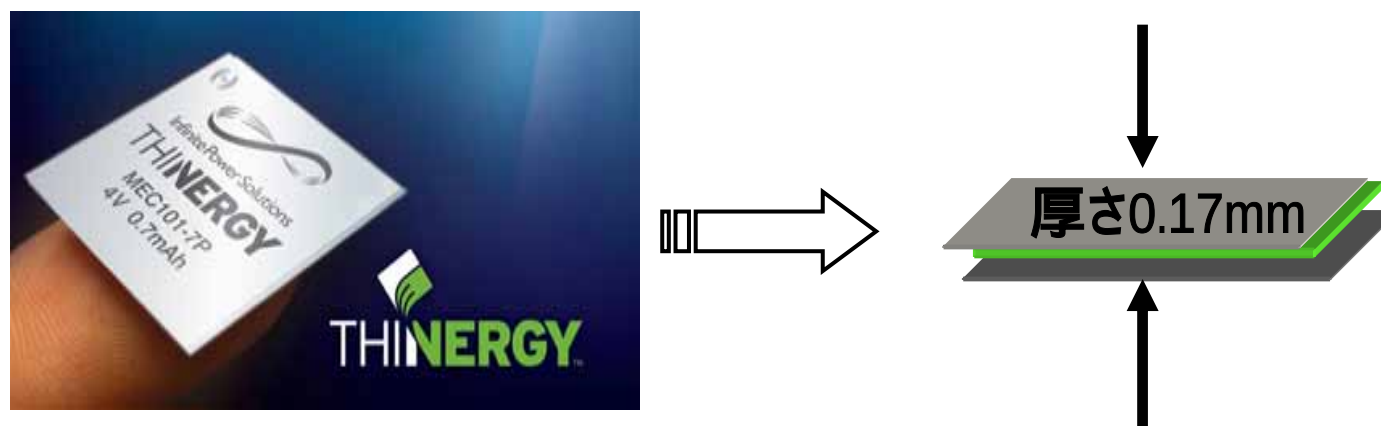
組み込み機器向け省電力製品の販売に注力

インテル社製品の取扱いを開始

高機能リチウム電池

環境/省エネルギー関連商品の販売促進活動

インフィニット・パワー・ソリューションズ社



< 特徴 >

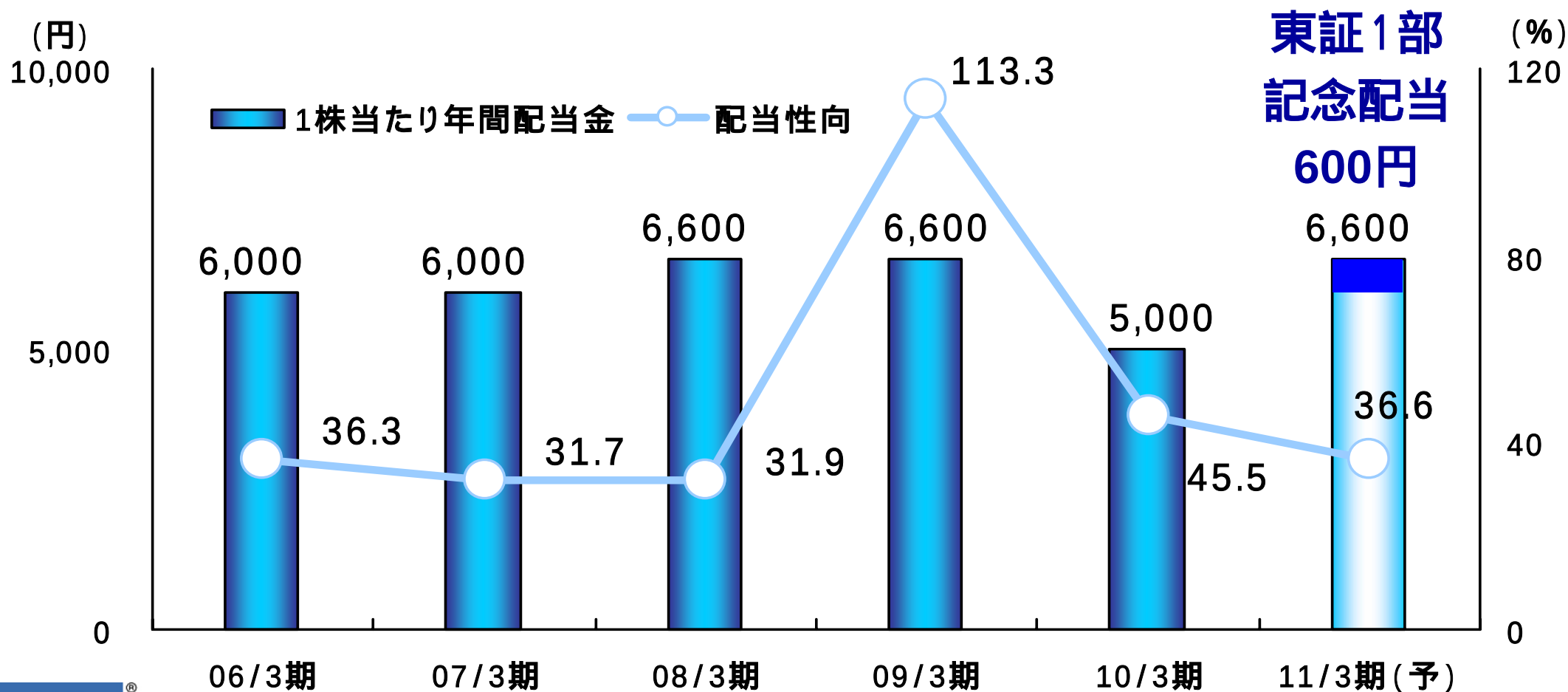
- ・省スペース：超薄膜形成技術、厚さ0.17mm
- ・クリーンエネルギー：有害物質なし、不発火
- ・長寿命：充電、放電10,000回、電化保持10年

5 . 株主還元

配当方針

継続的かつ安定的な配当の実施

業績連動型として連結配当性向30%目安



Technical Support
Development

おかげさまで 2010年12月24日
東証1部に上場いたしました。

今後も株主の皆様をはじめ
お客様 仕入先など
広く社会から信頼される
NO.1 技術商社を目指してまいります。

本日はご清聴ありがとうございました。

資料取扱い上の注意

このプレゼンテーションで述べられている将来の当社事業に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。

当社の参画するエレクトロニクス業界及びIT業界は変化のスピードが大変速く、また、世界経済、半導体市況など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、今後当社の業績見通しが本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおきください。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。